キャラクター名
【公開用】贖形依縒（あがた･いより）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ブラム＝ストーカー	ワークス		カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	18歳	性別	女
覚醒		衝動		初期侵食率	0 %
出自	？？？？	経験	？？？？	邂逅	？？？？

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	3	0	0			3
精神	3	0	0			3
社会	0	0	0		1	1

HP	27
行動値	14
(非装備時)	14
戦闘移動	19
全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：？？？？	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ダムドスカル	射撃	3r-2	-	9＋2D		攻撃時；侵食率+1／暴走解除時；シーン中At+2D
【～99%】？？？？	射撃	9r+2	@7	58+5D		侵食値：10→6／2HP消費
【100%～】？？？？	射撃	11r+3	@7	66+5D		侵食値：10→11→6／2HP消費

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
サイドリール	
サングイン	
強震のピアス	
コネ：噂好きの友人	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
？？？？	P	N		
脚本『ユニバース』	P 傾倒	N 不安		
西森綾乃	P 憧憬	N 疎外感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P： 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
極限暴走	1	-	常時	至近	自身	-	ﾘﾐｯﾄ	
効果：	《背徳の理》を「暴走時」に							
螺旋の悪魔	5	3	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	-	-	
効果：	暴走付与、ラウンド中At＋LV×3							
鮮血の奏者	3	4	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	-	-	
効果：	LV点HP消費、ラウンド中At＋LV×3							
レストレインコマンド	1	4	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	-	-	
効果：	バステ3個まで解除							
追撃の魔弾	1	5	ﾏｲﾅｰ	至近	自身	-	ﾘﾐｯﾄ	
効果：	ﾒｼﾞｬｰ2回、《赫き弾》のみ、C値＋1							
赤：赫き弾	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	武器	-	〈射撃〉	-	
効果：	At＋LV×2、2HP消費							
コンセ：ウロボロス	3	2	ﾒｼﾞｬｰ	-	-	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	-	
効果：	C値－LV（下限7）							
背徳の理	3	3	ｵｰﾄ	至近	自身	-	-	
効果：	シーン中、ウロボロスを組み合わせた判定＋LV×2D							
ハイブリーディング	1	6	ｵｰﾄ	至近	自身	-	120%	
効果：	いつでも：《追撃の魔弾》の使用回数回復、5HP失う							
灰：歪んだ腕	1	7＋2	ｵｰﾄ	至近	自身	-	120%	
効果：	ﾒｲﾝ直後：未行動に、ラウンド中行動値0に							
イージーフェイカー：空の楽器	★							
効果：	大気をスピーカーに変え、任意の音声や音楽を発生させる。							
影絵芝居	★							
効果：	任意の形を持つ影を作り出し、自在に動かす。							
効果：								

T市立高校に通う女子生徒。演劇部。
根っからの明るい性格で、誰からも頼られ、常にクラスの中心的存在である。
中学生までは様々な運動部に入っては短期間で飽きて辞めるのを繰り返していたが、3年前、学校説明会の際に観た舞台に強い感銘を受け、T市立高校に入学することを決意。入学初日に演劇部の門を叩く。元々のセンスのお陰もあり、ほどなくして自他共に認める、部内最高の役者として扱われるようになった。いくつかの舞台を経験し、やがて部長となり、後輩たちからの厚い信頼と憧れの的となっている。
現在は部長も引退し、推薦で大学入学を決めた今、高校生活に残すものは卒業公演のみだ。

憧れ
学校説明会の際に観た舞台――『ユニバース』。その作者、西森綾乃（にしもり□あやの）に憧れた。贖形とは三学年差で、入学と同時に入れ違いで卒業してしまったが、それでも入部からしばらくの間や、長期休みには部に顔を出してくれることもあった。彼女は『ユニバース』についてあまり話してはくれなかったけど、言葉を交わせるだけで充分だった。

挫折
贖形の強い要望により、彼女が二年生になる年の演劇大会で『ユニバース』を再演した。主演は贖形、よりよい作品にするため、演出にもかなり口を出した。準備は万端、稽古もこれ以上ないくらい完璧に仕上げた。一昨年の大会では関東大会銀賞だった――私たちこそは全国へ、そのつもりで臨んだ。
……しかし、結果は予選敗退。講評も「初演の模倣のレベルにすら達していない」「脚本の真意を読み込めていない」と、散々なものだった。彼女はしばらく塞ぎ込んだ。

夢：卒業公演『ユニバース』の成功
一度は酷評された舞台だったけれど、あれから一年が経ち、演技に更なる磨きをかけてきた。今度こそ成功する、絶対に成功させると意気込んでいる。贖形以外の部員たちも、その成功を確信している。
去年の大会と同じく、贖形が主役を演じ、他のキャストも厳選に厳選を重ねた。衣装や舞台美術も、更に時間を掛けて作り込んだ。「脚本の真意を読み込めてい